

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局

代表幹事に就任して

代表幹事 高木政晃

今回2000年までの2年間の間、日本ボストン会の代表幹事に就任するに当たり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。今になってその仕事の重責を感じとまどっています。幸いな事に次期代表幹事(2001/2002年)に茂木賢三郎さんの就任が決まりました。元、前と次期代表幹事の方々のご指導をいただき、また藤盛紀明さんをはじめとする副代表幹事の方々、多くの幹事の方々のご協力を得て、微力ではありますが一生懸命勤めて参りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

本会の路線は、初代表幹事の吉野耕一さん、2代の井口武夫さん、3代の藤崎博也さんのご指導によりしっかりと敷かれております。また役員の方々と会員の方々のご活躍により、活発に多くの行事が行われて参りました。これからもこの路線を継承しながら一層発展させてゆきたいと思っております。以下に本会の発展への大まかな私の考えを述べさせていただきます、代表幹事就任の挨拶とします。

1. 組織の発展

本会の活動をより発展させるために本会の組織をつぎのように発展させてゆきたいと考えています。

(1) 英文名称

ボストン日本人会をはじめアメリカの人々や団体との交流が多くなると英文名称が必要になります。藤崎前代表幹事の提案により、既に幹事会において組織と役職の英文名称が定められました。

(2) 会員名簿の配布

会員の交流を輪を拡げるのに会員名簿の果たす役割は大きいので既に配布されています。これを例えば2年毎くらいの適当な間隔で改訂し、配布するよ

うにしたらいかがでしょう。

(3) 幹事の希望者をつのる

(4) 会員をふやそう

本会の活動を活発化するには、各方面から幅広い年齢層の人々を会員とし、交流の輪を拡げるのがよいと思われれます。チームにより勧誘の資料を作り、勤務先別、学校別その他向けに勧誘を行って会員をふやしたいと考えます。

(5) 会則の改訂

環境は変わらないようでも知らぬまに変わっていくものであるため、必要があれば会則を改訂します。

2. 分科会活動について

(1) アイデアを集めたい

分科会活動に新しいニーズを導入し、また魅力あるやり方をさがしてみたいので、会員の皆様のアイデアを是非提供していただきたい。

(2) 分科会活動記録の作成と保存

分科会活動は幹事会議事録にのせられてあるので、これを1年分まとめて記録、保存しておく、時間が経つ程面白味がでてきて役に立つものであります。

(3) 「日本/ニューイングランド交流の記録」出版企画

これについて幹事会を中心としてできるだけ支援をしてゆきたいと考えます。

3. 結び

以上いろいろと述べましたが実行するのは難しいことが多いと思います。それで私としては「あせらず、あわてず、あきらめず」に人と人との結びつきを大切に交流の輪を拡げ、喜びをもって楽しめるような日本ボストン会に少しでも近づきたいと思っておりますので、皆様のご指導、ご協力、ご支援をお願い申し上げます。(高木代表幹事自己紹介次ページ)

日本ボストン会イベント

*お花見	4月4日(日)夕	千鳥が淵(2ページ参照)	*名古屋料子美術館見学	7月10日(土)(3ページ参照)
*ゴルフ	4月22日(木)	(2ページ参照)	*会報発行	9月末(原稿締切り8月末)
*ハイキング	5月15日(土)		*第8回総会・懇親会	11月12日(金)夕

日本ボストン会
1999年大観桜会のご案内

恒例の日本ボストン会の皇居千鳥が淵のお花見会は4月4日(日)夕に開催されます。

参加者のご意向を伺い、例年のウイークデーの開催を取り止め、ウイークエンドの開催の方が参加し易く、気分に乗って楽しいとのご意見があり、日曜日の開催になりました。

今この原稿を書いている時は寒い冬の2月ですが、東京の桜は固いつぼみは沢山つけて、満開への準備を怠りなくしています。4月4日は例年だと満開には少し早い時期ですが、暖冬なので、Good Timingになるだろうと予想しています。

昨年行ったアンケートでは、お花見の参加者は30人以上にふくらむ予想です。

初代会長のハーバード大学吉野先生からE-mailが入って、4月7日來日予定を早めて4月4日到着、成田空港から千鳥が淵に直行されます。

例年花より団子と思い、お花見の散策にもビール・熱燗を用意致しましたが、優雅な当会の女性陣の評判は良くないので、今年は取り止めます。懇親会まで我慢していただくこととなります。但し私は花よりだんごでワンカップを持参する予定です。

参加希望者は次の要領に従ってご参加願います。

集合時間: 1999年4月4日(日)午後6時(幹事は6時半迄ホテル前で待っています)

集合場所: フェヤーマントホテル

千代田区九段南2-1-17(千鳥が淵)
(地下鉄九段下駅2番出口)

宴会場所: ホテルグランドパレスバイキング(B1)

電話 03-3264-1111

千代田区飯田橋1-1-1

(地下鉄九段下駅徒歩1分)

宴会費用(予定): お酒込み・飲み放題(7000円)

お酒無し(5500円)

参加申込先: 藤盛紀明、富美子

高木政晃代表幹事挨拶

(1ページから続く)

「自己紹介」

1976年から1984年までの約8年間、NECの現地責任者としてボストン近郊に家族と共に楽しく暮らしました。

当時アメリカ人の中では日本への関心は大変強く、会社の仕事のほかに

*井口総領事(当時)とニューイングランド各地で共同講演

*アメリカマネジメント協会、カナダマネジメント協会、また各種団体のビジネスセミナーで日本企業のマネジメントについての講演

*アメリカの多くの大学院で日本企業について講演

などをいたしました。

また、ボストン日本人会副会長、ボストン日本協会のDirectorを勤めました。今はリタイアしまして、隠居生活を妻と共に楽しんでます。

次回ゴルフ親睦会は4月22日 入間CCで!

前回のゴルフ親睦会は昨年10月29日、寄居カントリークラブで女性5人を含む16人が参加して開催されました。

新ペリヤ方式に代えて、今回から各自のハンディキャップ方式にしましたが、伊藤英徳さんがベストグロス81、ネット67で優勝しました。

グロスの結果は、80台が3名、90台が3名、100台が4名、110台が4名、130台が2名でした。各々のレベルに応じて、楽しい親睦ゴルフが出来るのが特徴です。

今年第1回の親睦会は4月22日(木)、入間カントリーで開催されます。5組20名を募集しますので、初めての方も奮ってご参加下さい。

費用: 2万円見当(参加費、プレー費、昼食代、パーティ代)。

地図: 参加者宛に別途送付します。

申込は事務局、または幹事までお電話下さい。

幹事 伊藤英徳

近藤宣之

事務局

名古屋ボストン美術館 4月17日開館

名古屋ボストン美術館紹介

名古屋の副都心(JR東海道・中央本線、地下鉄名城線、名鉄名古屋本線、「金山」駅南出口前)に建設中の「金山南ビル」内に、4月17日、米国ボストン美術館の姉妹館として、名古屋ボストン美術館が開館します。

この美術館は米国ボストン美術館所蔵の優れた美術品を、恒常的に日本に紹介する唯一の専用展示館であり、日本にいながら鑑賞出来る美術館です。伝統ある同美術館がもつ広範・高水準な美術活動との提携を通じ、日本文化の文化振興と日米文化交流の進展に寄与することを意図しています。

米国ボストン美術館のコレクションによる年2回の企画展と、5年間の長期展示による常設展が準備される他、多彩な計画が進行中とのことです。

ボストン美術館(The Museum of Fine Arts, Boston)は、1876年開館の世界有数の総合的美術館のひとつです。およそ50万点にも及ぶ膨大なコレクションの中でも、日本をはじめとした東洋美術コレクションは世界第一級と評価されています。

これはモース、フェノロサ、ビゲローや岡倉天心、富田幸次郎らの尽力に大きく起因します。

(展示部門)

古代エジプト・ヌビア・近東美術部、古典美術(ギリシャ・ローマ)部、ヨーロッパ絵画部、ヨーロッパ装飾美術・彫刻部、東洋美術部、アメリカ絵画部、アメリカ装飾美術・彫刻部、版画・素描・写真部、染織・衣装部、現代美術部。

(名古屋ボストン美術館 展示企画)

- *「モネ、ルノワールと印象派の風景」99年4-9月
- *「岡倉天心とボストン美術館」99年10月-2000年3月
- *「古代地中海世界の美術」99年4月-2004年春
- *日本コーナー 99年4月より順次展示予定

「美術鑑賞の旅」参加者募集要領

日本ボストン会では、予てより名古屋ボストン美術館と連絡をとり、その準備状況は会報第7号、第11号にてご案内をいたしました。

いよいよ開館が目前になりましたので、小倉忠夫館長のご都合を伺い、美術愛好者を募って名古屋への旅行を次の通り計画致しました。ふるってご参加下さい。

日時: 7月10日(土)午後1時半集合

(講演会は下記別項参照願います。)

場所: 全日空ホテルズ・ホテルグランコート名古屋1階ロビー

住所: 名古屋市中区金山町1-101

電話: 052-683-4111

交通: JR名古屋駅が金山駅下車(東海道本線3分)

宿泊先: 全日空ホテルズ・ホテルグランコート名古屋

宿泊料金: ホテル オープニング・サマプラン を利用

1泊朝食は昼食付き/サービス料込み、諸税別

スタンダード・ツインルームを2人で利用の場合

¥12,500(1人当たり)

但し15名以上の場合、割引の可能性あり。

宿泊特典: a)名古屋ボストン美術館の無料入場券(企画展・常設展1200円は宿泊料に含む)

b)2階カフェレストラン/オーキッド ガーデンのソフトドリンク

c)館内レストラン、10%割引利用可能。

懇親晩餐会費: 一人¥7000(飲料、税別)予定

申込締切: 平成11年5月20日(木)

申込み先: 美術愛好会 酒井一郎

参加、および宿泊の有無について、電話、はがき、e-mailにてご連絡下さい。

日本ボストン会: 名古屋ボストン美術館訪問企画

1. 日時: 平成11年7月10日午後2時10分-4時10分
2. 講話・解説: 小倉忠夫館長、柴柳夫人、展示品紹介(VTR他)
3. 懇親会: 午後5時30分-午後8時於全日空ホテルズ・ホテルグランコート
4. 美術鑑賞: 自由行動(7月10日 午前10時-午後1時半、11日午前10時-午後5時)

"Lady Meaux" (1881)

J. M. Whistler(1834-1903)

ホノルル美術館

1998年、クリスマスで賑わうハワイへと旅だった。滞在から2日目、ホノルル美術館(Honolulu Academy Art)へと足を運ぶ。心地良い展示室に数人の旅人が何気なく置かれたベンチに座り、絵画の世界に身を寄せている。

フランス印象派、後期印象派の展示室の正面に等身大の人物像の油絵が目に入った。マサチューセッツ州に生まれ1885年、画家になることを決意してパリに行き、以後アメリカに戻らなかった James McNeill Whistler(1844-1926)であった。

19世紀から20世紀にかけて展開されたアメリカとヨーロッパの芸術交流の橋渡しとなったのは、国外居住者のアメリカ人画家Marry Cassatt(1844-1926)、John Singer Sargent(1856-1925)そしてWhistlerであった。彼らの存在は、故国アメリカの美術の進展に大きな影響を及ぼしたのである。

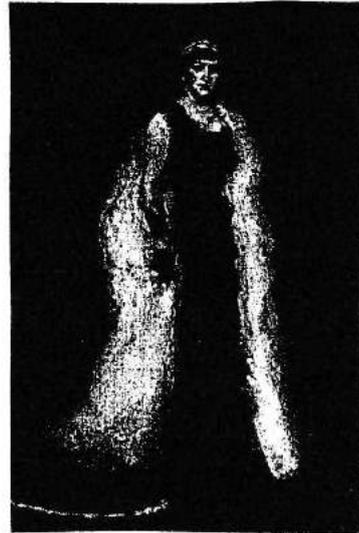
ホノルル美術館のWhistlerの作品"Lady Meaux"(1881)のモデルは、消えた背景の前に立っている。黒、白、赤と微妙に肉づけられた、広い色面による構成は、より大きさが感じられる。伝統的明暗調、そして対象をこのように空気で包むやりかたを、スペインの画家Velazquez(1599-1660)から学んでいる。

"Lady Meaux"はWhistler1870年の頃の作品に比べ、アール・ヌーボウ的線の特性、そして体の彫刻的丸みは確固たる存在感を与えている。すっきり伸ばした背筋、肩から床まで届く長いショールに光が当たり、全体の黒い色調の中であって、見る人に心地よさを感じさせる。色数少なく比例を無視したと思われる程の長身が一種の気品を与えている。

Whistler描く1870年の頃の肖像画"The Artist's Mother"(1872) ルーブル美術館(パリ)と、"Miss Cicely Alexander"(1872-4) テート美術館(ロンドン)は、"The Lady Meaux"に比べ描線がはっきりして、トーンを抑えた色彩だけを使い、まるで油絵の具を水彩のように使っている。平面的、装飾的そして絵画空間描写は日本の浮世絵に影響された。

国外に住み、どんな小さいことをも想像して描くことのなかったWhistlerは限られた色の中に微妙な色の響き合いを求め創作に力を注いだのである。

美術愛好会 酒井典子 2/18/99



"Lady Meaux" (1881) ホノルル美術館
(194.3 x 130.2)



"Artist's Mother" (1872) ルーブル美術館
(140 x 160)



"Miss Cicely Alexander" (1872-4) テート美術館
(190.2 x 97.8)

(ホームステイの受入報告 11月7-8日)
デクリストフォー先生をお迎えして

私たちの娘もお世話になったボストン日本人学校が校舎を使わせて頂いているメドフォードハイスクールの先生ということで親近感もあり、たった一泊という短い間であっても、少しでも日本の家庭に触れて頂ければとお引き受けした。

7日午後、集合場所の東京駅にお迎えに行く。今年はMr. Calvin Carpenter(Medford)、Mr. Maurice Sapoznik (Brookline)とわが家に来られたMs. Nancy M. DeCristofaro (Medford)の3人が来日された。ナンシー・デクリストフォー先生は心理学を専攻されたとても感じの良い素敵な方で安心した。

首都高、東名とも割合すいていて一路町田のわが家へ。途中、フィルムがないのに気づき大型ショッピングセンターに立ち寄った。

ナンシーは日本のショッピングセンターは初めてという事で、色々興味深そうだったが、びっくりしたのはセンターの一角にあるマックを見ると、とても喜んで写真を撮ったこと。何でも2人の小学生のお子さんに頼まれた由。やはりマックはアメリカの代名詞なのかと面白かった。主人と私、ナンシーの3人でプリクラを撮った。

夕方、わが家に到着。夕食はすきやき。食後は色々話が弾んだ。

ナンシーは学校で様々な問題を抱えた生徒の担任で、毎朝始業1時間前には学校に行き、授業の準備をするという熱心な先生だった。

家は郊外のリトルトンで、野生の鹿も出るという程の広大な土地のある閑静なお宅とか。羨ましいかぎりだ。夜も更けて、いつもはシャワーだけというナンシーも日本の入浴にトライ、とても気に入ってくれたようだった。

翌朝、食事のあとわが家の狭い庭で記念撮影、お昼頃には羽田集合なので早めに出発して、途中横浜のベイブリッジに立ち寄ることにした。大黒サービスエリアでコーヒーを飲み一休み。羽田で他の2人の先生と合流して次の目的地、広島へと旅立って行った。

本当に束の間であったが、私達にとっても久しぶりにボストンの風がさっと吹き抜けたような楽しいホームステイだった。(肥田木 月子)

日本/ニューイングランド 交流の記録出版

会報第12号にて会員にご提案した日本/ニューイングランド交流の記録出版企画は、編集チームが3月末までに原稿を取り纏めることで準備を進めています。編集チームには次のテーマで原稿提出のお申し出を受けています。

1. 日本で活躍したMIT人脈(仮題)
2. MITと日本の歴史
3. ボストンに日本のいけばなが根づくまで
4. Peabody Museumと日本
5. 天心の真面目-ボストンでの一年-
6. 失われた記憶を訪ねて-日本の中のニューイングランド
7. ポーツマス条約を支えたハーバード人脈
8. モースの見た日本と日本人(仮題)
9. 北海道とMAの歴史
10. ボストンマラソン(仮題)
11. メーフラワー香りの出来る迄
12. チルドレン・ミュージアムと京の町家

音楽の会(98年11月11日) 中野翔太ピアノの夕べ

佐々木涼子さんが主催するC & C Clubでは、今年度の定例コンサートに中野翔太君をお招きし、11月11日夕、三田の綱町三井クラブにおいてピアノコンサートを開催した。(会報第12号参照)

翔太君は、モーツァルト、ショパン、ラフマニノフのピアノ曲を1時間に亘って演奏し、参加者にその優れた演奏振りを示した。アンコールには、一転してカンパネラを弾き、その軽妙なるピアノタッチで聴衆を魅了した。

昨年11月の故江戸英雄翁を偲ぶ会において、翔太君は小澤征爾氏の指揮するオーケストラをバックに、モーツァルトのピアノ協奏曲第26番ニ長調K. 257「戴冠式」より第1楽章のピアノ曲を独奏し、その優れた才能を示した。(会報第11号参照)

中学2年生の翔太君は、一昨年、小学校6年生で全日本ピアノコンクールの優勝者であった。昨年5月、米国ワシントンに於ける斉藤邦彦駐米大使主催のパーティに招かれ、ショパンのエチュードを演奏し、世界的指揮者スラットキン氏にその才能を認められ、今年9月にジュリアード留学が決まっている。

当会からは7人が参加した。(俣野善彦)

「日本里帰りの旅」を終えて

ボストン日本人会婦人部 吉野静子

「私は嬉しさのあまり、飛行機から降りてすぐ日本の大地にキスをしたかった」と日本ボストン会歓迎会の席上の挨拶の中で言われたKさんは46年振りの里帰りでした。

私はその言葉を聞いて、企画から実行までの長い間の大変だった事からはすべて消し飛んでしまいました。この旅は出入り自由参加と決め、集合も旅の起点に相応しい「お江戸日本橋」(箱崎ターミナルから徒歩3分)の小さなビジネスホテルとしました。

3組に別れてボストンを発ち、3組目の5人が到着したのは集合日の11月5日夜でした。Kさんと36年振りのTさんなど、懐かしい日本のすべてに興味していました。

平均年齢70歳は長旅も何のその、その夜は近くの「焼き鳥、おでん屋」で心行くまで日本を味わい、これから始まる旅の無事を祈って祝杯を上げました。

翌日、新幹線で大阪へ、新大阪駅で友人2人の出迎えをうけ、大きな荷物を持った我々を豊中のホテルまで案内してくださいました。大阪出身のKさんは車窓から見える風景の変化にただただびっくりして、大きな目を見開き過去の人となった両親に思いを馳せているようでした。

大阪から参加したEさんを加えた一行6人は9日まで同じホテルに宿泊し、町内なのに温泉付だったので、皆でここをお世話下さった方に感謝しました。

7日は宝塚歌劇、大坂城見学。8日は松平健公演(Sさんのお世話で席は前列真ん中、休憩時間に健さんと記念写真。お土産まで戴く)、あとは通天閣近くの「スパワールド世界の大温泉」へ。

9日は前日本人会秘書、ジャメンツ登三子さんが友人と京都駅で出迎えて下さり、ハイヤーで一日京都見物。比叡山、清水寺、金閣寺等を巡り、昼食は蕎麦、夕食はゆばと心行くまで京都に浸りました。

比叡山で車を降りて間もなくガイド兼運転手さんの説明中、Kさんが見えなくなり、修学旅行の学生や参拝者で混雑する中を捜したのも、今は良い思い出となっています。当のKさんは時間が惜しい、一枚でも多く写真に撮っておきたい一心でした。

10日は小田原からバスで箱根姥子のホテル着、ここで参加の3人を加えた一行9名は温泉三昧、会員

制のホテルで食事も和・洋食を選べ、露天風呂には樽酒と升が置いてあり(夕方のみ)一杯飲みながら富士山を仰ぐ。これぞまさに温泉天国、一同大満足。

11、12日は芦の湖巡りや箱根ガラスの森などを楽しみました。

13日夕べ、三田のNEC芝クラブで日本ボストン会の総会があり、私たち一行は招待され、心温まるおもてなしを受け、プレゼントまで頂きました。皆この旅に参加して良かったと心から思ったようです。Kさんは「約半世紀振りで訪れた祖国で、こんなに歓迎されるなんて」とうれし涙を流していました。

14日は歌舞伎観劇。

15日は日本ボストン会の3名の方のお世話で一日鎌倉見物。丁度、七五三の日で鎌倉八幡宮は大変な人出、遠来の客の目を十分に楽しませてくれました。この日、お昼の精進料理をいただいたお寺で下足棚のTさんのNIKEが紛失しました。お寺さんのスリッパで半日を過ごしたTさん、愚痴一つこぼさない前向きな人を気づかう優しさに感動し、グループで行動する時の大切な心得を学びました。

16日と17日は自由行動としました。特筆すべきは日本にも馴れたKさんです。一人で東京を歩き、夕方に疲れて入ったお好み焼き屋で店のご夫婦と仲良しになりました。店の奥さんはKさんと一緒にお土産を持ってホテルまで来られました。帰りがけに奥さんの目は涙ぐんでいたと同室の人がびっくりしていました。17日には会ってお互いに住所氏名を交換し、養子縁組をしたと、日本に肉親のいないKさんは本当に嬉しそうでした。

18日九州、米子の肉親のもとに旅立った3人を除いて、皆無事ボストンに帰りました。2週間の旅の間、健康と天気に恵まれて大過なく過ごせたことに一同感謝しあいました。

終わりにになりましたが日本ボストン会の方々のご支援を心から感謝申し上げます。総会当日ご寄附を募り、今回来日出来なかった「いこいの場」の人達のお土産に2万円を頂きました。改めて御礼を申し上げます。また、旅行の企画、手助けをして下さった次の方々に厚く御礼を申し上げます。(敬称略)ドリティー幸子、江村伸子、古川義子、今川明夫、石川喜子、ジャメンツ登三子、国定美佐子、森下展枝、中埜紀子、野田善子、岡野泰山、當間きよみ、高野全世、田中夕紀子、山根バーバラ、依藤義子。

日本ボストン会1998年度総会

日時: 1998年11月13日(金)午後6時

場所: NEC三田ハウス 芝クラブ

出席: 藤崎代表幹事他44人出席

議事: 代表挨拶、乾杯、活動報告、会計報告。

懇親会: 當間副代表幹事より「いこの場」メンバー8人紹介。

コルベラ孝子さん、ドリティー幸子さん、ニコルス玉枝さん、オシエール枝さん、宇田悦子さん、ウエンデル幸子さん、増淵文子さん、吉野静子さん。

新会員紹介: 柏木豊さん、中島憲子さん、村上貞美さん、山本澄子さん。

第6回総会は當間副代表幹事の挨拶にて開会、「いこの場」メンバーの紹介から始められた。まず会計報告が行われ会員増加の必要性が訴えられた。

総収入¥259,673、総支出¥253,949、残額¥5,724。

(銀行預金、定期預金、郵便貯金合計¥842,199)

藤崎代表幹事が都合で遅参されるので、高木次期代表幹事の挨拶・乾杯で懇親会に入った。

途中、藤崎代表幹事が入場されたところで挨拶され、1958年に氷川丸にて留学のために渡米、今年で百回に上る外遊回数になるが(うち約3分の1はMIT関係)、今後も引き続きニューイングランド・ボストン/日本の友好の橋渡し役を務める考えで、現在両地域間のつきあい方を調べ、原稿を集めて本に纏め、その上で新しいきずなの土台を作りたいとの念願を述べられた。今年11月からは高木代表幹事へバトンを引き継がれる旨挨拶され、「いこの場」の皆様の来日参加を歓迎し、心尽くしのお土産(岩波文庫「日本小学唱歌集」)を全員に贈呈された。

この他、近藤副代表幹事からもCDの贈呈があり、席上で「いこの場」活動支援の寄付も行われた。

「いこの場」グループからは日本ボストン会婦人部の吉野夫人・増淵夫人からこども、今回の来日の経緯の報告があり、何十年ぶりに里帰りされた6人の自己紹介を伺った。

久し振りにご出席の山田敬蔵さんからは、総会に出席された山本澄子さんとボストンマラソン参加以来四十余年ぶりに再会をされたお話があった。

北海道MA協会山下健一専務理事からは最近の北海道とマチュセツの交流状況のお話を伺った。

土居副代表幹事からはWG活動状況の報告と活性化のためのアンケート調査中の旨報告があった。

幹事会報告

*1998年12月12日(土)出席者18人

高木新代表幹事挨拶

... どんどん会員を増やしましょう。

歴史の会報告(11月8日)(別項参照)

生麦事件資料館・キリンビール横浜工場見学

ハイキングの会報告(12月12日)(別項参照)

大井町駅/東京港野鳥公園/大井埠頭中央公園/品川水族館/「天仲」(幹事会開催)

ゴルフの会報告(10月29日)(別項参照)

於寄居カントリークラブ(伊藤英徳さん優勝)

美術の会報告(名古屋ボストン美術館見学計画)

総会報告・反省(11月13日)

会員37人、いこの場8人、合計45人出席。

欠席者からのご寄付26人3万円

ボストンからの帰国者に総会での再会呼び掛け。

誘い合わせての出席の呼び掛け。

次回総会の日取り決定(11月第2金曜日)

レディース会報告(別項参照)

総会当日の募金総額2万円「いこの場」メンバー贈呈。

「いこの場」メンバー鎌倉案内(當間・高野・中埜)。

お礼状・報告文(日本人会会報掲載)の報告。

日本ボストン会の英文称号変更・ロゴ募集

"Nihon Boston Kai"の代わりに"The Boston Association of Japan"とする。

ロゴは会報で募集する。

歴史出版計画

歴史を中心。寄稿応募者8人。追加呼び掛確認。

詳細は(藤崎、藤盛、篠崎、関)に一任。

会報(次回発行3月末、原稿締切2月末)

次期代表幹事

高木代表幹事より茂木賢三郎さんがお引受け下さる旨報告あり。

ホームステイ受入れ報告(11月7/8日)

佐藤花子様実家、肥田木誠様、土居陽夫様の3家庭にてお世話。

ボストンガイドブック50冊発注報告

新会員入会(9月以降2人)柴柳健一さん、中島憲子さん

*1999年2月10日(水)出席者18人

高木政晃新会長挨拶原稿意見交換

茂木賢三郎次期代表幹事挨拶

名古屋ボストン美術館「美術鑑賞の旅」企画

保野善彦副代表幹事(会報担当)の選任を確認